

岩盤ボーリング柱状図

調査名 砂防指定地内河川 堂の谷川砂防設備等緊急改築事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	Bor. No. 1	調査位置	広島県廿日市市大野広原地内	北緯	34° 19' 40.0074"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	2019年 7月 22日 ~ 2019年 7月 25日	東経	132° 11' 34.1950"
調査業者名		主任技師		現代場代理人	
孔口標高	T. P. 258.95m	角	180° 上下 0° 90°	コアア 確定者	
総削孔長	9.00m	方位	北 0° 270°西 90°東 180°南	ボーリング 責任者	
		地盤勾配	鉛直 90° 30°	試験機	東邦製D1-B型
		使用機種		エンジン	ヤンマー製NFD13型
				ポンプ	東邦製BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬さ	割れ目の形状	岩の等級	地質時代名	記	孔内水位/測定月値	ルジオン試験		原室内位置試験	削孔状況			
														ルジオン値	試験		削孔速度 (cm/h)	削孔径 (cm)	回転数 (rpm)	送水量 (L/min)
	258.25	0.70	コンクリート	コンクリート	灰~淡褐色								07/22 07/22 07/22	P-Q 図 P:有効注入圧力 MPa Q:注入量 l/min/m ():換算ルジオン値 ():限界圧力		120	10.0	150	15	
	256.50	2.45	玉石(骨材)	玉石(骨材)	淡褐色						新生代第四紀完新世	深度0.30~0.55m間は骨材の硬質玉石。それ以外は礫状~短柱状コア主体。深度0.52~0.62m間は空隙。深度0.60m以深は堤体部で全縮水。	07/24 07/24		109	20.0	162	15	W2/15	
	254.95	4.00	コンクリート	コンクリート	灰~淡褐色							片~柱状コア主体だが深度2.45~2.6m間は高角度で土位玉石と接する。深度3.00~3.90m間は片状主体だがモルタル分が少なくジャンカが多い。深度3.0m付近に木片を混入する。	07/21 07/21		46	30.0	151	15	W1/10	
	254.60	4.35	玉石(骨材)	玉石(骨材)	灰							骨材の硬質玉石。片~短柱状コア主体。深度4.52~4.62mは空隙だが、小さな空隙も多い。	07/25 07/25		100	25.0	166	15	W1/10	
	253.85	5.10	コンクリート	コンクリート	灰							岩片は硬質だが多角形で容易に砕けるオーストラリア産。岩組織は明瞭。深度5.75~5.85m間はアブライト岩脈の角礫状コアを挟む。	07/25 07/25		86	20.0	154	15	W2/15	
	251.75	7.20	風化花崗岩	強風化花崗岩	淡褐色	w3	h2	D	V	d	DH	中生代白亜紀	ハンマー軽打で金属音がする柱状~片状コア主体。コア肌は概ね滑らかで岩石組織は明瞭。深度8.75m以深はアブライト岩脈で、硬質な角礫状コア主体。	07/25 07/25		76	60.0	66	15	W2/15
	250.20	8.75	風化花崗岩	風化花崗岩	灰	w2	h1	B	III	b	CL		コア肌は概ね滑らかで岩石組織は明瞭。深度8.75m以深はアブライト岩脈で、硬質な角礫状コア主体。	07/25 07/25		80	25.0	144	10	W2/10
	249.95	9.00			淡褐色									07/25 07/25		102	20.0	168	13	W2/13